

長湯温泉観光協会等の皆さん

～令和6年7月25日(木)訪問～ 【竹田市】



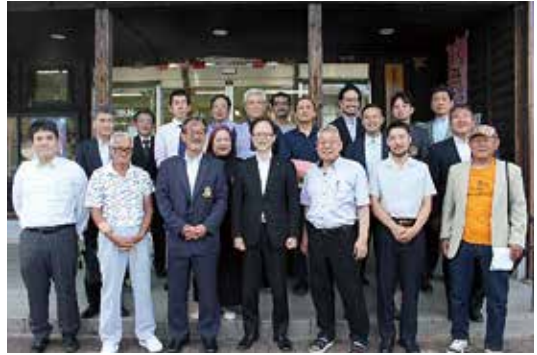
全国屈指の炭酸泉を誇る竹田市の長湯温泉は、古くから「美肌の湯」として知られるとともに、近年の研究では、炭酸泉は血圧を下げ血糖値の上昇を抑える働きや、大きな疲労回復効果があるとして注目を集めています。そのため、宿泊や入浴の際の給付のほか、食事処でのサービスなども受けられる「竹田式湯治パスポート」を発行して、ヘルスツーリズムの推進を図っています。

懇談では、コロナ禍後の観光客の動向等についてお聞きしました。観光客は増加傾向にあり、その中でもスポーツツーリズムにおいて賑わいを見せているとのことでした。特にラグビーは、全国の強豪校が合宿に訪れており、他校との交流による競技力向上にもつながるなど、相乗効果が生じているとのことでした。

また、炭酸泉を利用したソーダ水やアイスクリームといった商品の販売促進への協力や、近年増加している空き家の利活用などについてのご要望のほか、高齢化等による人手不足の課題もお聞きしました。

今後、中九州横断道路などの主要な道路網が完成すれば、観光にとって大きなチャンスとなるため、長湯温泉の魅力をしっかり発信してほしいとお伝えしました。

懇談風景



関連分野における県の施策(令和7年度)

☆事業名:【新】地域未来創造総合補助金

事業概要:人口減少が進む中、魅力ある地域を未来へ継承するため、地域住民等が行う魅力ある地域づくりや特色ある取組を支援

予算額:5億円

☆事業名:【特】おおいた地域づくり活動支援事業

事業概要:特色ある地域活性化の取組の担い手確保・持続的発展を図るため、市町村から推薦のあった地域づくりに活躍しているひとや団体を登録し、活動紹介や参加者募集を行う特設サイトを開設

予算額:950万円

☆事業名:空き家対策促進事業

事業概要:空き家の適切な管理と利活用を促進するため、空き家相談窓口の設置や移住者等向け空き家利活用の支援など所有者や利活用者に応じた対策を実施
・空き家利活用事業費補助金(補助率 県1/4、市町村1/4)

予算額:8,060万円

※【新】は令和7年度からの新規事業

【特】は本県の課題を解決し、新しいおおいたを創りあげる「新しいおおいた共創枠」